

## 第13回 災害対策研修会のお知らせ

(令和6年能登半島地震 支援活動報告会)

自然災害の頻発が深刻化する中、災害時の要配慮者支援に関する課題が浮き彫りになっています。高齢者や障がい者、難病患者、子供や乳幼児、妊産婦などの要配慮者に対する支援が十分でないことが指摘されています。特に、介護が必要な高齢者や障がい者、難病患者への支援が遅れることで二次的な被害が増大しています。避難所と福祉避難所との連携が不十分であることや、災害時の保健医療と福祉の連携に課題があることが原因の一つとして挙げられています。避難所や福祉避難所の整備状況や運営体制に不備が見られることも実情です。政府は保健医療と福祉の連携強化を喫緊の課題として捉え、保健医療福祉調整本部の設置などの対策を講じています。

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では、要配慮者への支援体制が課題となりました。被災地では、高齢化率が50%を超える地域もあり、要配慮者支援の必要性がさらに増しています。そのため、長期にわたる持続的な支援が不可欠です。災害時の保健医療と福祉の連携が不十分だったことから、被災者への支援が遅れ、二次的な被害も発生しています。

神奈川県では、災害時の福祉支援として神奈川 DWAT（災害派遣福祉チーム）が設置され、本会も積極的に参加しています。本研修会のテーマを「2024年能登半島地震 災害支援活動報告」としました。本研修会では、神奈川 DWAT（災害派遣福祉チーム）から2名の本会災害対策部部員が石川県輪島市に派遣された経験を踏まえた報告が中心となります。活動報告を通じて、被災地での実際の状況や支援活動の課題を学び、今後の災害対策に生かしていきたいと考えております。

### 【概要】

- 主催：公益社団法人神奈川県理学療法士会
- 運営：公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部
- 日時：2024年5月18日（土）10:00～13:00（受付開始 09:30～）
- 会場：TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター
- 目的：実際の災害支援活動からリハビリテーション専門職として行う支援と課題について検討する
- 対象：公益社団法人神奈川県理学療法士会各会員およびリハビリ関連職種
- 定員：80名（先着順）
- 参加費：無料（事前申し込みのみ）... 当日参加：OT, ST, 他職種, 会員外：500円（資料代として）  
※（公社）日本理学療法士協会会員の方「マイページ」より申し込みください。

セミナーID：125841

- テーマ：「令和6年能登半島地震 災害支援活動報告」

### 【講師】

前田 拓氏（横浜市立大学附属市民総合医療センター）  
西谷 真亜沙氏（介護老人保健施設 レストア川崎）  
「神奈川 DWAT 災害支援活動報告」

### 【タイムスケジュール】

10:00 ～ ご挨拶（公社）神奈川県理学療法士会

10:10 ～ 11:10 講義①「神奈川 DWAT 災害支援活動報告①」

11:10 ～ 11:50 講義②「神奈川 DWAT 災害支援活動報告②」

10分休憩

12:00 ～ 12:30 全体を通じたディスカッションと自由討議

「今回の災害支援活動の経験からどのような準備をすべきか?また地域でどのような支援が出来るか?」

閉会のご挨拶（公社）神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部

**【参加申し込み】**

下記の必要事項をご記入の上、本会会員の方は日本理学療法士協会マイページから、  
会員外の方、他職種の方：問い合わせ先のメールアドレスに下記の必要事項をご記入の  
上、申し込みください。

① 氏名（ふりがな） ② 所属 ③ 職種

**E-mail :** [eiji.shimoda@sums.ac.jp](mailto:eiji.shimoda@sums.ac.jp) (問い合わせもこちらへお願いします)

<本研修会に関するお問合せ先>

神奈川県理学療法士会 事務局 災害対策部 下田栄次

E-mail : [eiji.shimoda@sums.ac.jp](mailto:eiji.shimoda@sums.ac.jp)